

GIII vol. 142 「くまもとアートポリス巡回展 みんなの家、後世へつなぐ復興」

開催報告



GIII vol. 142 くまもとアートポリス巡回展 みんなの家、後世へつなぐ復興

会期 2021年11月3日(水) - 2022年1月16日(日)

会場 熊本市現代美術館 井手宣通記念ギャラリー、ギャラリーIII

主催 熊本県・くまもとアートポリス建築展 2021 実行委員会

共催 熊本市現代美術館 (熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団)

本展は建築家の伊東豊雄氏がコミッショナーを務めるくまもとアートポリスとの共催である。東日本大震災をきっかけに、くまもとアートポリスが取り組んできた「みんなの家」を中心とする、人と人とのつながりを大切にしたい復興への取り組みを振り返りながら、これからの「みんなの家」が担う役割を考えることを目的として開催した。復興する熊本の姿を全国に発信するために、2021年10月22日～28日まで東京メトロ銀座駅のイベントスペース、熊本での開催を経て、2022年1月23日～26日には日せんだいメディアテーク1階のオープンスクエアで巡回展が行われた。

東日本大震災や熊本地震など、度重なる災害において整備されてきた120棟を超える「みんなの家」の取り組みについて、「みんなの家のはじまり」「みんなの家 東北での取り組み」「同熊本での取り組み」「アートポリスプロジェクトによる創造的復興」「これからの『みんなの家』」「みんなのエールツリー」の6パートに分け、写真パネル、建築模型、映像などで紹介した。また、2021年11月27日には、建築家でアートポリスアドバイザーの曾我部昌史氏と日比野克彦館長によるトーク「これからの公共建築、災害時のアートインフラを考える」をホームギャラリーで行うと共に、配信をおこなった。

アーカイブ URL : <https://www.youtube.com/watch?v=VuAkAJSpIgY>

編集：坂本顕子（熊本市現代美術館教育事業班主査・学芸員）





